



学校だより

我慢 笑顔
努力する力

令和3年 7月19日
長崎市立三和中学校
校長 岩永聡輔

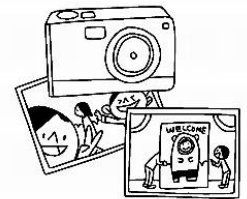
夏休み

長い夏休みが始まります。この期間を有意義に過ごせるかどうかは生徒自身にかかっています。「明日できる事は今日しない」というたるんだ気持ちで過ごしていると、1日しかない8月31日が1日では足りなくなります。「息抜き」「休憩」は大切ですが、「息抜き」の合間に「家庭学習（課題）」に取り組むというのは本末転倒です。充実した夏休みを終えて、9月1日には、爽やかな表情の204名と会えることを楽しみにしています。



- (予定) 7月25日(日) 県中総体
- 7月26日(月) 県中総体
- 8月9日(月) 平和登校日
- 8月23日(月) 実力テスト
- 8月24日(火) 実力テスト
- 8月26日(木) 3年修学旅行
- 8月27日(金) 3年修学旅行
- 9月1日(水) 始業式

- ※ 県中総体には、ラグビー部、女子バドミントン部、空手道個人組手が出場します。
- ※ 面談期間は7月28日～8月19日です。
- ※ 高校入試関連の行事や各部活動の行事、3年生の修学旅行もあります。



今年の夏休みは、「平和の祭典」オリンピ

ックやパラリンピックも開催されます。かつて、日本は戦争をしていましたが、「ミッドウエー沖での敗北」→「本土空襲」→「沖縄戦」→「広島」→「長崎」→「8月15日」とつながり、戦争が終わりました。しかし「8月15日」で戦争が終わらなかった地域や人々がたくさん存在していることを忘れてはなりません。



国の指導者は「正義の旗」を掲げ、他国との問題解決の手段として「戦争」をはじめます。戦場では「互いの正義」を信じ、国民（民衆）が命をかけて戦います。皆さんはこのことに不条理を感じませんか？

「偏った情報」「デマ」に踊らされる、考えることを忘れた国民には、戦争を止める力はありません。長崎の中学生は「原爆」を起点に多くのことを学んできました。それでも、まだ足りません。すでに太平洋戦争から何十年も経過していますが、今も、新たな資料や事実が見つかっています。大人も学び続け、「自ら考える頭脳」をつくっていきましょう。76年間も戦争をしていない国はそんなに多くありません。

命を大切に

毎年、夏から秋にかけて、台風・大雨による災害が日本のどこかで起きています。地震災害も近年増えてきています。もちろん火山災害にも注意が必要です。（縄文時代、喜界カルデラの噴火により九州の南半分が壊滅状態になったことが様々な証拠から明らかになっています。）しっかり情報を集め、早めの避難を心がけてください。なお、大雨時・台風時の登下校については、三和中ホームページにも掲載しています。

自然災害だけでなく交通事故・水難事故・火災等にも注意を払ってください。自分の命も他人の命も大切に！

校長より

珍客「セイタカシギ」

7月9日の早朝、三和中学校の運動場にセイタカシギが飛来しました。この鳥は40年ほど前までは、長崎県では数回しか観察されていない珍しい鳥でしたが、近年観察例が増えているようです。20分程餌を探した後、飛び立っていきました。学校には、モグラ、ノウサギ、キュウシュウジカ、イタチ、イノシシ、テンなどのほ乳類が訪れた痕跡もあります。何か発見があったら理科のおじさんにも教えてください。

